

ECOプロジェクト・プラス Vol. 8 『H23年度節電行動計画取組み結果&冬期に向けた取組みについて』

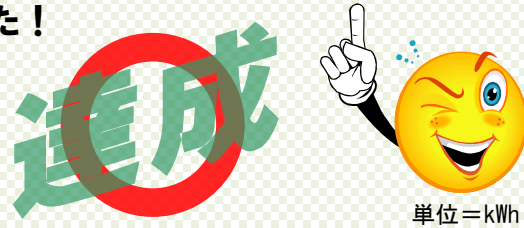


2011 . 11

H23年夏 節電取組み結果発表！！

★平成23年7月1日～平成23年9月22日

東日本大震災とそれに伴う福島原発事故による電力供給不足を受け、今夏はECOプロジェクトに“プラス”して全公共施設で一層の電力節減に取り組みました！



単位=kWh

目標 ① 全公共施設＝電力使用量16%削減

目標 ② 市庁舎・議会棟＝電力使用量25%削減

全公共施設	7月分	8月分	9月分	合計	市庁舎・議会棟	7月分	8月分	9月分	合計
H22年	6,010,155	6,227,099	4,031,032	16,268,286	H22年	283,389	287,625	196,233	767,247
H23年	4,568,409	4,490,017	2,969,594	12,028,020	H23年	185,838	179,778	122,269	487,885
削減率	24.0%	27.9%	26.3% ①	26.1%	削減率	34.4%	37.5%	37.7% ②	36.4%

★削減効果・・・一般家庭の年間電気使用量換算＝1,180世帯分、CO2換算＝約1,630t

(経費＝約57,000千円 13.37円/kWhで試算)

◆電力使用制限令への対応結果◆

施設名称	制限割合	電力使用制限令達成状況			前橋市節電計画		
		7月	8月	9月	目標	削減率	達成状況
1 グリーンドーム前橋	15%	○	○	○	16%	26.8%	○
2 館林場外車券売場	15%	○	○	○	16%	26.1%	○
3 水質浄化センター	5%	○	○	○	16%	23.6%	○
4 六供清掃工場	15%	○	○	○	16%	使用なし	○
5 荻窪清掃工場	15%	○	○	○	16%	33.2%	○

施設名称	制限割合	電力使用制限令達成状況			前橋市節電計画		
		7月	8月	9月	目標	削減率	達成状況
6 市庁舎及び議会棟	15%	○	○	○	25%	36.4%	○
7 前橋プラザ元気21	15%	○	○	○	16%	26.3%	○
8 前橋工科大学	15%	○	○	○	16%	28.3%	○
9 前橋テルサ	10%	○	○	○	15%	17.7%	○

◆分野別削減状況と主な取組み◆

削減率	効果的であった主な取組み(アンケートから)
市庁舎 36.4%	冷蔵庫を撤去/退庁時にプラグを抜く/手作り網戸を設置し窓を開放/スイッチ付節電タップ導入/月・水・金をノーマルデーとした/電気ポットを廃止/朝の窓開け実施
支所・公民館 41.4%	始業前に駐車場に打ち水/部屋利用者へ節電協力依頼/グリーンカーテンは来館者への啓発にも効果があった/グリーンカーテンは効果を保つため時期をずらして植えた/窓際の整理整頓
保育所 30.2%	合同保育による空調使用室の削減/よしず・すだれ・扇風機の活用/エアコンフィルターのこまめな清掃/グリーンカーテンの設置
保健所・福祉施設 30.2%	窓際の照明オフ/冷房運転を半分とした/電気ポット・冷蔵庫は使用停止/温水機の使用停止/グリーンカーテンは予想以上に効果があった
清掃・水道施設 22.2%	自動ドアの一部停止/焼却炉を週1日停止/時差勤務(サマータイム)を導入/グリーンカーテンは好評を得た/下水処理を3系列から2系列とした/ウォシュレットの使用停止
共同調理場 25.5%	夏休み中の冷蔵庫・冷凍庫の停止/完全閉場日を設定した/自然乾燥による乾燥機の使用抑制
学校関係 21.8%	職員室・廊下の照明を間引き/OA機器不使用時は電源オフ/夜間の体育館利用を中止/エアコンを各階時間差で使用/子供たちからの節電アイデア募集
図書館等 25.6%	照明の間引きとともに取り外し可能な照明カバーを外した/冷房開始時間を1時間遅らせた/スイッチ付節電タップ導入/駐車場の照明調整
競輪所 26.6%	競輪開催時の照明削減/照明・空調については来場者の要望・意見を聴きながら現地確認を行い見直しを行った
スポーツ施設 20.0%	水銀灯の減灯/各施設の夜間利用制限日が重ならないよう配慮しながら利用制限/体育館の空調設備の稼働を半分に制限/トイレのウォシュレット・暖房便座を停止
消防施設 31.8%	照明を必要最小限にし、間引きを行った/当番を決め毎日チェックした/書棚を移動し風通しを良くした/健康管理を考慮し冷房運転時間等を見直した/外灯の減灯

<アンケートの主な意見>

・グリーンカーテンは実際の効果の他に視覚的にも涼しげであり多くの施設で好評であったうえ、市民啓発の効果もあったという意見が多くありました。
 ・高めの温度設定や照明の間引きについては多くの施設で利用者の理解が得られていたようですが、市庁舎の特に1・2階フロアでは来庁者から暑いという意見が多く聞かれました。
 ・今後も引き続き節電に取り組んでいきたいという意見が多くあった一方で、無理や行き過ぎた取り組みは長続きしないため見直しを行いながら進めたいという意見も多くありました。

冬期に向けた節電の取組みについて！！

【国の方針(東京電力管内)】

今冬の電力需給バランスについては、今夏ほど深刻とはならない見通しであるが、平成23年12月1日～平成24年3月30日の間、引き続き国民生活及び経済活動に支障を生じない範囲での節電(具体的には、照明・空調機器等の節電などを要請する(具体的な数値目標は示さない。))。

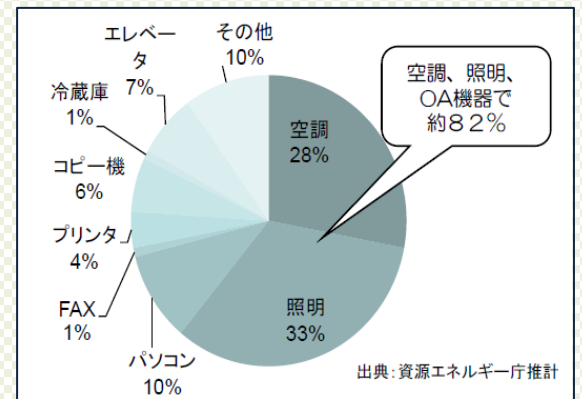


◆本市の今後(冬期)の取組み方針◆

節電は地球温暖化対策としても重要な取組みであることから、数値目標は設定しませんがECOプロジェクト・プラスとして、引き続き適正な市民サービスや職場環境の確保に努めながら、無理をしない範囲で節電に取り組んでいただくようお願いします。

◆冬の節電のポイント◆

オフィスビルの電力消費のうち、空調用電力が約28%、照明が約33%、OA機器(パソコン、コピー機等)が約21%を占め、これらで電力消費の約82%を占めるため、これらの分野における節電対策が効果的！



◆主な節電取組み項目◆

■照明の間引き・こまめな消灯、LED化の一層の推進など

【アンケートからの留意点など】

・施設利用者の安全確保や職員の健康管理等の観点から、一定の照度の確保が重要です。

■暖房温度は20℃を目安に設定するとともに運転時間の短縮

【アンケートからの留意点など】

・温度調整は施設利用者の理解や協力を得られる範囲で状況を見ながら実施してください。

■ウォームビズの徹底

【アンケートからの留意点など】

・重ね着や保温性を高めるインナーの着用、ひざ掛けの使用など各自の工夫により取り組みましょう。

■OA機器のこまめな電源オフ(スタバイモード活用)、待機電力のカット

【アンケートからの留意点など】

・スイッチ付節電タップを活用するなどしてOA機器の退庁時の電源オフを徹底しましょう。

節電に特效薬はありません！夏の節電で得ることができたノウハウを活かし、各所属・施設で工夫をしながら、冬に向けて本日よりあらためて節電への協力をお願いします！